

相模湾より採集されたショウサイフグに寄生したヒダビルの記録

倉持 卓司・高橋 清人

Takashi Kuramochi and Kiyohito Takahashi:
Record of *Limnotrachelobdella okae* Parasitic in *Takifugu snyderi*
Collected from Sagami Bay, Central Japan

はじめに

ヒダビル *Limnotrachelobdella okae* (Moore, 1924) は、魚類に寄生するウオビル科の一種である。本種は、養殖魚のブリ *Seriola quinqueradiata* Temminck and Schlegel, 1845, ヒラメ *Paralichthys olivaceus* (Temminck & Schlegel, 1846), トラフグ *Takifugu rubripes* (Temminck & Schlegel, 1850) や、野外で採集されたスズキ *Lateolabrax japonicus* (Cuvier, 1828) などの魚類への寄生が報告されている (Oka, 1910; Nagasawa *et al.*, 2008, 2009) が、ショウサイフグ *Takifugu snyderi* (Abe, 1989) への寄生は、これまで報告されていない。また、相模湾においては Oka (1910)

以後、ヒダビルの正式な記録はない。本報告では、2009年5月に相模湾より採集されたヒダビルと、新たな宿主としてショウサイフグを報告する。

本報告にあたり、調査にご協力いただいた倉持敦子氏、伊藤辰弥氏に感謝申し上げます。

資 料

ヒダビル *Limnotrachelobdella okae* (Moore, 1924) (図1)

採集地： 神奈川県横須賀市芦名沖 水深 30-35m

採集日： 2009年5月31日

宿主： ショウサイフグ *Takifugu snyderi* (Abe, 1989) (全長：24.7 cm)

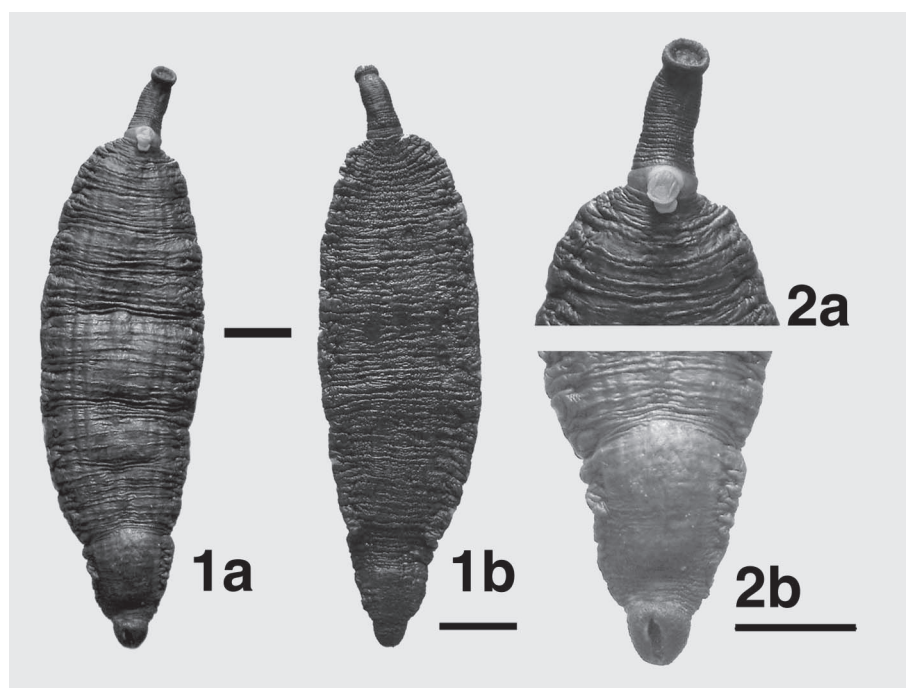


図1. ヒダビル *Limnotrachelobdella okae* (Moore, 1924). 1a:腹面; 1b:背面; 2a:前吸; 2b:後吸盤 (スケールバー: 10mm).

記 載

体色は黒色。体長 85.4mm (アルコール固定標本の測定値)。体は扁平で、頸部と胴部に分けられる。体表には細かい縮緬皺があり、生時には、波状に動く。前後の吸盤は共に小さく、口は前吸盤の底にあり、前吸盤背面の頸部近くに小さな眼点がある。環帯は第 11 と第 12 体節間にあって、ややくびれる。胴部の両側に 13 対の呼吸囊をもつ。

比 較

日本産のヒダビル属は、本種とマミズヒダビル *Limnotrachelobdella sinensis* (Blancgard, 1896) の 2 種類が記録されている (長澤ほか, 2008)。マミズヒダビルは、淡水域のゲンゴロウブナ *Carassius cuvieri* Temminck & Schlegel, 1846 や ギンブナ *Carassius auratus langsdorfii* Temminck & Schlegel, 1846 の鰓蓋内側に寄生し、本種に比べ小型で、呼吸囊が胴部の両側に 11 対あることで異なる。

考 察

ヒダビルは、日本沿岸域以外には中国、東ロシアの海域～汽水域に分布し (長澤ほか, 2008)、これまでに Nagasawa *et al.* (2008) により 7 科 11 種類の魚類への寄生例が報告されている (表 1)。Nagasawa *et al.* (2009) は、本種の寄生が複数にまたがる分類群の魚類から記録されていることから宿主特異性は低い可能性を指摘している。

今回採集されたショウサイフグと同属のフグ科魚類では、山形県で採集されたクサフグからの記録と、岡山県

のトラフグの養殖場で採集された個体の記録が見られるが (Nagasawa *et al.*, 2009; 泉川, 1999)、フグ科魚類に対する寄生に伴う魚病学的な検討は行われていない (水野, 1989)。今回採集されたショウサイフグの体表には、ヒダビルだけでなく、鰓尾目のホソウミチョウ *Argulus caeus* Wilson, 1922 の寄生が同時に認められた。

筆者らは、Oka (1910) 以後の相模湾におけるヒダビルの採集記録について調査したが、記録は見つからなかった。筆者の一人高橋は、ショウサイフグを採集した同一の海域で過去 20 年以上にわたり底刺し網漁を定期的に行っているが、これまで本種の寄生したショウサイフグを含めた魚類を採集したことはなかった。

長澤ほか (2008) は、日本近海産のウオビル科の既知種を整理し、これまでにウオビル科の宿主として記録された魚類は 28 科約 40 種に過ぎず、日本産魚類の外部寄生虫のうち、最も研究の遅れているグループのひとつとしている。ウオビル科の生態学的研究には、寄生生物と宿主の関係を明確にすることが不可欠な情報であり、さらなる情報の蓄積が必要であると思われる。

引用文献

- 泉川晃一, 1999. トラフグに寄生するヒル. 水試だより, (244): 1-2.
- 水野芳嗣, 1989. ヒダビル症. 畑井喜司雄・小川和夫・広瀬一美監修, 魚病図鑑. p.20. 緑書房, 東京.
- Nagasawa, K. and Y. Fukuda, 2008. A case of infestation by *Limnotrachelobdella okae* (Hirudinida: Piscicolidae) on Japanese amberjack *Seriola quinqueradiata* cultured in Kyushu, Japan. *Journal of the Graduate School of Biosphere Science, Hiroshima University*, 47: 29-34.
- Nagasawa, K., K. Izumikawa, H. Yamanouchi and T. Umino, 2009. New hosts, including marine fishes cultured in Japan, of *Limnotrachelobdella okae* (Hirudinida: Piscicolidae). *Comparative Parasitology*, 76(1): 127-129.
- Nagasawa, K., Y. Ueno, Y. Ishito and T. Yamauchi, 2008. *Limnotrachelobdella okae* (Hirudinida: Piscicolidae) from cherry salmon, *Oncorhynchus masou masou* in neritic deep waters of the western North Pacific Ocean. *Biogeography*, 10: 33-39.
- 長澤和也・山内健生・海野徹也, 2008. 日本産ウオビル科およびエラビル科ヒル類の目録 (1895-2008 年). 日本生物地理学会会報, 63: 151-171.
- Oka A., 1910. Synopsis der Japanischen Hirudineen, mit Diagnosen der Neuen Species. *Annotationes Zoologicae Japonenses*, 7: 165-183.

表 1. ヒダビルの宿主として記録された魚類

チョウザメ目 Acipenseriformes
チョウザメ科 Acipenseridae
ダウリアチョウザメ <i>Huso dauricus</i> (Georgi, 1775)
サケ目 Salmoniformes
サケ科 Salmonidae
イトウ <i>Hucho perryi</i> (Brevoort, 1856)
カラフトマス <i>Oncorhynchus gorbusha</i> (Walbaum, 1792)
シロザケ <i>Oncorhynchus keta</i> (Walbaum, 1792)
ヤマメ <i>Oncorhynchus masou masou</i> (Brevoort, 1856)
コイ目 Cypriniformes
コイ科 Cyprinidae
マルタウグイ <i>Tribolodon brandti</i> (Dybowski, 1872)
スズキ目 Perciformes
スズキ科 Lateolabracidae
スズキ <i>Lateolabrax japonicus</i> (Cuvier, 1828)
アジ科 Carangidae
ブリ <i>Seriola quinqueradiata</i> Temminck & Schlegel, 1845
カレイ目 Pleuronectiformes
ヒラメ科 Paralichthyidae
ヒラメ <i>Paralichthys olivaceus</i> (Temminck & Schlegel, 1846)
フグ目 Tetradoniformes
フグ科 Tetraodontidae
クサフグ <i>Takifugu niphobles</i> (Jordan and Snyder, 1901)
トラフグ <i>Takifugu rubripes</i> (Temminck & Schlegel, 1850)
ショウサイフグ <i>Takifugu snyderi</i> (Abe, 1989)

倉持卓司：神奈川県横須賀市芦名 2-6-3-504

高橋清人：神奈川県横須賀市芦名 1-15-2